

周りの人からの印象

鴨宮中学校 三年 中島 颯斗

自分が周りの人達からどのように見られているのか、皆さんはどのくらい気にしていますか。私は気にし過ぎて何か発言するのに、とても時間がかかってしまいます。この発言を不快に思う人はいないか、誰か傷つく人はいないか、などと考え過ぎてしまうからです。しかし、そんな私を変えてくれたものがありました。

私は兄の影響で、2歳から剣道を習っています。剣道は、礼に始まり、礼に終わる武道です。指導して下さる先生方や一緒に稽古をしてくれる仲間たちにだけでなく、稽古する道場に対しても感謝の気持ちを含めて一礼してから道場に入り、最後に一礼してから帰ります。この「一礼」が私にとっては、ただ当たり前のように行う動作でしかありませんでした。新型コロナウイルスが現れる前までは――。

新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、感染症緊急事態宣言が発令され、稽古場所は使えず、稽古ができなくなり、人と接触することも禁止されました。一生懸命稽古してきて、次こそは優勝するぞと楽しみにしていた大会は全て中止。行動制限が緩和され、やっと稽古が再開できた時、心から感謝の気持ちを込めて「一礼」することができるようになったのです。そのおかげでより一層、稽古にも真剣に向き合えるようになりました。

「いつも皆を引っ張ってくれてありがとうございます」

「頼りにしてるよ」

などと沢山の先生方から声を掛けてもらえるようになり、それは私にとって大きな自信に繋がりました。今では私を目標にしていますと言ってくれる後輩ができたり、剣道部の部長も任せてもらいました。同じ「一礼」でも気持ちが入ったことで、周りの人が受ける印象が良くなったように思いました。さらに自分自身に対する評価を高めてくれる効果もあったように感じました。

どう見られているのかを気にするのではなく、自分の思いを行動へ繋げていくこと。これからも剣道を通して自分を見つめていきたいです。